

# 看護部通信

#IOSPY

2019.4.1発行 第52号

ホスピグループ腎透析事業部看護部

## ごあいさつ

ホスピグループ腎透析事業部統括看護部長  
新生会第一病院 看護部長

宮下 美子

新年度から新生会第一病院看護部長とともに、ホスピグループ腎透析事業部統括看護部長を兼任することになりました。医療を取り巻く社会情勢の変化だけでなく、十全クリニックの新築移転、師長の交代などグループ内でも変化のある年を迎えます。特に看護部は、理念・基本方針の見直しとラダーの見直しという大きな変化を計画しています。私たちが目指す看護を思い描きながら、看護部皆で患者・家族サービスを充実させていきましょう。これからもよろしくお願いいたします。

ホスピグループ腎透析事業部 看護系顧問 岡山 ミサ子

この度2019年3月末をもってホスピグループ腎透析事業部の統括看護部長の任を終えます。これまで支えていただきありがとうございます。4月から事業部看護系顧問として看護師の育成と相談業務を行います。私はこれから日本を元気にしていきます。特に次の3点に力を入れていきます。「ケアしている人のケア」「がんばりリーダーの応援」「人と人をつなぐ対話の場づくり」どうぞよろしくお願いいたします。

### <2019年度のキーワード>

#### 1. 看護実践の充実

- ▶高齢・認知症・家族看護の実践
- ▶シンプルな仕組みと手順づくり

#### 2. 働き方の改善

- ▶セルフケア・ラインケア
- ▶安心・安全で働きがいのある職場

#### 3. 情報・見直し

- ▶看護部理念・基本方針の見直し
- ▶看護部ラダーの見直し

## 2019年度看護部目標

新生会第一病院 副看護部長 片村幸代

視点	大目標	中目標
顧客	1.質の高い看護実践	※①安心・個別性を重視した患者・家族ケア ②内外の多職種連携によるサービスの提供
内部プロセス	2.必要かつシンプルな業務改善	①業務のシンプル化 ②情報に基づいた安全(感染・リスク・災害)の実施
学習と成長	3.看護実践の見直し・活用	①専門性・看護実践力の評価と仕組みづくり ※②学びを実践に活かす
財務	4.健全経営	※①医療・介護・暮らしの切れ目のないシステム ②安心・安全な職場環境づくり

※重点目標

## 看護部の理念・基本方針を新しくします!!

①「どんな看護部にしたい?」②「どんな看護師を育てたい?」をテーマに、2019年3月6日、ホスピグループの師長・主任・副主任が、ひとり3つずつラベルに意見を書いて、看護部の理念・基本方針の見直しを管理者ワーキング会で話し合いました。

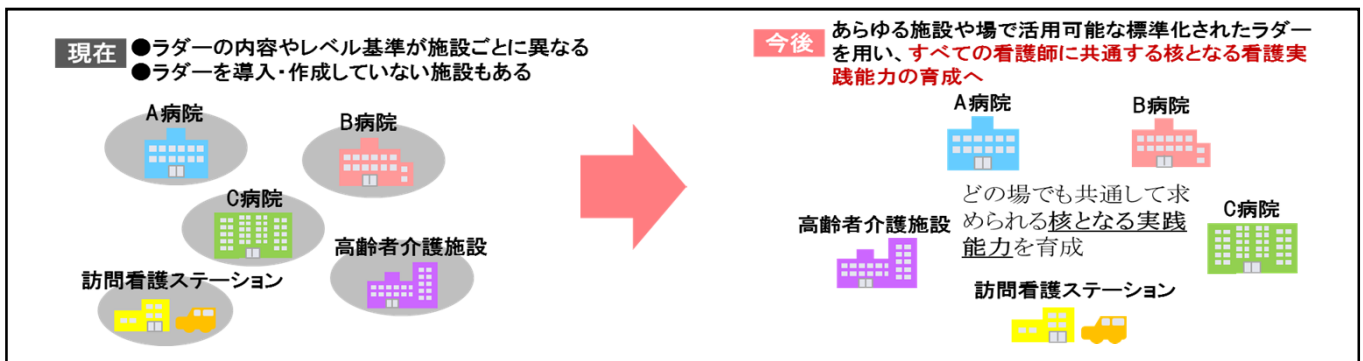


# クリニカルラダーを見直します！

新生会第一病院 透析室師長 澤村美海

日本看護協会は、少子超高齢化・多死社会を迎えるにあたり医療体制が変化を見据えて、2015年6月に将来ビジョンとして「いのち、暮らし、尊厳を、まもり支える看護」表明しました。看護提供する場は、拡大と多様性が必要となり、臨床から在宅医療まで切れ目のない看護提供が求められています。そのような場で活躍できる看護師が必要であり、働く場や働き方が多様化する中、全国レベルで活用可能な指標を用いた看護実践能力の育成が不可欠となっています。（図1）そこで、2016年5月に日本看護協会から「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）（以下JNAラダーと略す）」が公表されました。

図1 看護師のクリニカルラダーの将来的な方向性のイメージ



## 【JNAラダーの看護実践能力とは？】

JNAラダーは、あらゆる施設や場で働くすべての看護師に必要な核となる看護実践能力を示しており、JNAラダーを構成する4つの力（図2）は看護師が活動するどの場においても必要とされるものです。

図2 JNAラダーを構成する4つの力



## 【新生会看護部クリニカルラダーとの違いは？】

2018年度、管理者ワーキング会では、このJNAラダーを知るため、「看護」日本看護協会機関誌の抄読会を行い、また、実際に導入をした経験をお持ちの平岡翠先生をお招きし講演会を行いました。その後、新生会看護部クリニカルラダーを大まかに比べたところ、「意思決定支援を支える力」の明記がないことや、逆にJNAラダーには自己教育や組織的役割などが含まれていないことが分かりました。

みなさんも「私のキャリアファイル」に入っている新生会看護部クリニカルラダーとJNAラダーを見比べてみてください。必要な看護実践能力に気づくと思います。2019年度は、変化に対応できるよう、看護師に求められていること、自施設の果たす役割とはなにかを一緒に考え、改訂を踏まえて見直しをしていきたいと思っています。